



先祖から受け継いだ舞で
新春を祝う

表紙の写真

優雅に、そして
ダイナミックに
大償神楽

1月2日、神楽の館(大迫町内川目)で、大償神楽の舞初めが行われました。舞い手である大償神楽保存会まつむかえは、舞台の不浄を清める「鳥舞」や正月に舞われる「松迎」、来場者の災いをはらう「権現舞」まで約4時間の10演目を奉納。昨年亡くなられた、大償神楽保存会元会長で市勢功労者の佐々木隆ささき たかさんの姪孫・米澤直斗よこぞの なおとさんは、受け継がれた伝統ある「山の神」をしなやかに力強く舞い、訪れた観客を魅了していました。